

2022年度 福知山公立大学 第3回 市民講座

“教育”でまちづくりを考える

2022
11.25 金
19:00～21:00 (18:40～受付)

ハイブリッド開催：会場およびオンライン(Zoom)

会場：市民交流プラザふくちやま4階 会議室4-1* / 福知山市駅前町400

*マスク着用、手指アルコール消毒、検温等、新型コロナウイルス感染防止対策にご協力をお願いします。
状況によっては、開催時間の短縮もしくは会場での開催を中止し、オンライン開催のみに変更する場合があります。

参加費無料

会場定員35名程度

定員に達し次第、オンライン参加のみの受付となります。

第1部 SDGs・自然教育がもたらす子育て世代の流入



アランチフナ株式会社
取締役事業部長 **高岸 遥氏**

新しい生活様式で働き方が見直される中、子ども達のコミュニケーションの質・量低下は深刻な問題になっています。自然体験の多い子どもは、能動的で協調性が高く、問題解決能力に長けて、リーダーシップを発揮しやすいというデータがあります。質の高い教育を、地方の資産である自然を生かして提供すれば、教育を移住のポイントにおく子育て世代にとって魅力に映るに違いありません。全国の事例を交えながら、最新のSDGs教育に触れていただければ幸いです。

音楽系ITベンチャー、社会課題解決に特化したITシステム会社、医療系NPOを経て、2018年より昆虫と学びのコミュニティ『INSECT MARKET(インセクトマーケット)』を運営するアランチフナ株式会社を設立。自然教育をテーマに、SDGsの本質的な理解と推進を目指して、子ども達への社会教育に取り組んでいる。

第2部 教育のために地域社会ができること、地域社会のために教育ができること



福知山公立大学 地域経営学部
ふくはた しんじ
福嶋 真治 准教授

「教育と地域」と聞くと、すぐに学校や公民館を思い浮かべる方は少なくないと思います。しかし、まちづくりや地域活性の取り組みが長期的に維持されるためには、その地域で現在活動している方々や、学び育っている子どもたちに向けた教育実践だけでなく、「今後その地域で活躍する可能性のある外部の人たち」にも訴求力のある教育の仕組みづくりが非常に重要となります。本講演では、「コミュニティ・レジリエンス」をキーワードとしながら、持続可能性のあるまちづくりのための教育について、その条件や事例についてお話しします。

2010年、神戸大学法学部を卒業し、愛知県で人材系企業に勤務後、2014年から東京大学大学院教育学研究科に進学。2019年より国立教育政策研究所の国際調査専門職として、PISA(OECD生徒の学習到達度調査)に関する業務に従事した後、2022年4月より福知山公立大学・准教授に就任。「レジリエンス」概念を軸として、教育に関する様々なネットワーク・場面の在り方に関する研究に従事している。

第3部 パネルディスカッション コーディネーター 福知山公立大学 地域経営学部 **大谷 杏 准教授**



お申し込み▼
Googleフォームから

締切 11月22日(火) 17:00

URL <https://forms.gle/i6C3UNrWw8Y794TGA>

※ メールからも申込可能です。①氏名(フリガナ必須) ②電話番号、メールアドレス ③参加方法(会場参加・オンライン参加)の希望 ④所属をご連絡ください。
※ オンライン(Zoom)受講には、パソコンやスマートフォン等の端末およびインターネット環境が必要です。通信費は受講される方のご負担となります。お申込みいただいた方には後日、受講用(Zoom)のID・パスコードをお送りします。
※ お申込みの際の個人情報はお申込み後の事務連絡、本学事業のご案内、統計資料等の作成に使用させていただきます。利用目的以外の使用については、一切いたしません。